2019年度　神奈川県介護老人保健施設協会

介護部会　横浜南部ブロック会議

開催日時　令和元年１２月４日（水）１４：００～１６：３０
開催場所　湘南グリーン介護老人保健施設上郷
参 加 数　１２施設　１８名

スケジュール　挨拶、施設見学、休憩、討議（介護ロボット導入について）、フリートーク

議事（介護ロボット導入について）

・様々な介護ロボット（見守り支援型・移動移乗支援型・コミュニケーション支援型・その他）について各施設での導入の有無や使用した感想など意見交換をした。
・コミュニケーション支援型について数施設が導入経験あり、認知症利用者に対してセラピー効果が得られたり、口数の少ないご利用者が会話も増えたりとメリットがあった。デメリットとしては長く使用すると飽きてしまったり、初めから関心を示さないご利用者もおり万人受けとは限らない。また、高価な物で管理に気を使い、機械の故障（メンテナンス）等でも手間がかかる。
・見守り支援型について、多くの施設がセンサー等を使用している。行動把握のためのセンサーは種類が豊富で様々な対象者に対して、適切に使用できれば効果が多大である。しかし、使い方によってはご利用者のストレスにもなるため慎重な取り扱いが必要である。
・移動移乗支援型について、数施設でリフトの導入やパワースーツのデモ器体験などの話しがあった。多くの介護職にとって腰痛は大きな問題であり、移動移乗の支援で介護者の負担軽減に役立つ。しかし、準備や使用上に手間があると介護現場では使用の定着がなされないことも多い（面倒くさい、時間が無い等）。種類の検討や使用の定着に向けた業務ルールなどが必要である。
・その他の意見として、介護ロボット導入により職員人手不足が解消されご利用者の自立した生活に役立てば素晴らしいことであるが、それには各種介護ロボットの特徴を十分に理解する必要がある。また介護ロボットを取り扱う業者の情報や費用面でも考える必要があり、経営者の理解も併せて必要になる。

フリートーク

・外国人労働者について　・介護職員の雇用状況について　　等

以上